



# 第44回総会開催

各支部からの代表者、役員等併せて115名が出席し、第44回県退職教職員会定期総会を6月25日に県教育センターで開催した。議長に岡本章、敦賀支部長、芝井あさ子三方支部長を選出し、2018年度の事業・決算報告、2019年度の活動方針・事業計画・予算案などが承認された。

2019 スローガン

**今を生きる**  
～ つながり合って ～

- ゆきこじといた教育の支援 教職員への支援
- 生きがいづくり支援 親睦・交流の促進
- 生活の充実・向上と 平和を守る取り組み

# 福井県退教通信

編集・発行所  
福井県退職教職員会  
郵便番号 910-8544  
福井市大手2-22-28  
福井県教育センター内  
電話 (0776)23-9191  
第55号

奥本会長は挨拶で、先の統一選挙で当選された3議員に対する会員の皆様の熱いご支援に感謝の意を述べた。また、県退教などが取り組む教育請願活動について、その意義と重要性を述べ、昨年度はすべての項目が採択されたことを報告した。

来賓として次の方々が出席され、各氏からご祝辞をいただいた。

室田浩和 県教組執行委員長  
渡辺大輔 県議会議員

## 2018年度決算

[収入の部]

項目	決算額
会費	2,467,000
入会金	445,000
助成金	850,000
繰越金・他	253,441
合計	4,015,441

[支出の部]

項目	決算額
印刷費	208,656
事務費	638,812
総会・会議費	440,048
支部活動助成費	1,419,848
旅費・負担金	176,192
親睦費・賃借費他	364,036
積み立て金	380,000
繰越金	387,849
合計	4,015,441

## 2019年度予算

[収入の部]

項目	予算額
会費	2,500,000
入会金	400,000
助成金	850,000
繰越金・他	387,860
合計	4,137,860

[支出の部]

項目	予算額
印刷費	500,000
事務費	690,000
総会・会議費	660,000
支部活動助成費	1,440,000
旅費・負担金	270,000
親睦費・賃借費他	330,000
積み立て金	200,000
予備費	47,860
合計	4,137,860

## 2019年度主な行事

4月	会員勧誘活動
5月	支部総会(～3月) 21～22 親睦旅行(淡路島)
6月	7 日退教定期総会(東京) 19～20 北プロ定期総会(石川) 25 第44回定期総会
7月	教育請願署名活動
8月	1 退教通信第55号発行 17 教職員体育大会(敦賀・美浜)
10月	1 2020役員改選通知
11月	9 教研集会(小浜)
12月	1 退教通信第56号発行
2月	中旬 退職者入会説明会
3月	4 代表者会

北川博規 県議会議員  
玉村正人 福井市議会議員  
林勝義 県退教顧問  
今年度の活動方針は昨年に引き続き、スローガン『今を

生きる』つながり合って』が承認された。また、第3号議案として、改憲により「戦争をする国づくり」を進めようとする動きに対し、日教組の「教え子を送るな」のスローガンを堅持し、全国の仲間と協働して取り組んでいくことが承認された。



2019年度役員・支部長一覧	
◆ 会長	奥本明義
◆ 副会長	新門和子
◆ 常任委員	角谷久信
◆ 福井	土田玲子
◆ 奥越吉田坂井	福田春夫
◆ 鯖丹・南越	山西川宜夫
◆ 嶺南	山田道雄
◆ 監査委員	上原眞由美
◆ 顧問	原田一子
◆ 支部長	前川謙治
福井	加藤哲郎
大野	廣瀬行雄
吉田	伊藤清治
今立	細川悦雄
武生	平藤敏晴
丹生	伊藤徳三
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄
武生	細川悦雄
丹生	細川悦雄
鯖江	細川悦雄
坂井	細川悦雄
勝山	細川悦雄
大野	細川悦雄
吉田	細川悦雄
今立	細川悦雄



会長提言

# チコちゃんに叱られる

(総会挨拶より)



会長 奥本 明義

会員の皆様の本会諸活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

春の統一地方選挙では、組織力と会員の献身的な行動で、大きな成果を上げることができました。私たちの抱える教育課題を、議会へ力強く反映していただけるものと思います。幼い孫に「ゾウさんはどう

してお鼻が長いの」と問われ、応答に窮し、「鼻が長いから象さんなの」と、その場しのぎのごまかしで過ごす生活。『今を生きる』をスローガンに掲げながら、『今』をどれだけ理解し、『先』をどのように見通しているのか。本会50年の歩みをふまえた「力強い歩み」と願いつつ、諸課題を前にとまどい続きの毎日です。何もできず、ズルズル、ノホホンと過ごしているのは、5

歳児に「ポーツと生きてんじゃないよ」とお叱りを受けそうです。世界各地でのテロや難民問題、貿易摩擦、日韓関係等々、混乱が続く対立的な世界状況をどのように捉えればいいのかねない由々しき問題と言わざるを得ません。日本でも、一強政権を笠に、首相や官邸への忖度や便宜供与への疑惑や統計改ざん問題、「老後2000万円蓄え」報告のみ消しなど、何を信じ、何を疑うべきなのかわかりません。その一方では、莫大な軍備増強を図り、海外で戦争のできる自衛隊にするた

めの改憲がもくろまれていきます。戦後、教職にあった先輩諸氏が痛根の思いで誓い合い、運動の中心に据えた「教え子を再び戦場に送るな」は、教職に携わった者の魂でもありません。戦中・戦後の苦しさと言しさを味わい、やとと得た平和憲法下での「戦争をしない国」の尊さを身に染みて味わってきた私たちは、今できる行動・態度で、次代を背負う子どもたちにつないでいくことで、「チコちゃんに叱られない」ジジ・バアバでありたいものと思えます。

# 「楽しむ力」と「聴く力」

ひとこと



副会長 角谷 和子

最近、女優樹木希林さんの生き方が見事であったと話題になりました。特に「歳を取るって、絶対面白い事です」の発言には、我々世代の関心が集まりました。彼女は、出来ない事を嘆くのではなく、

歳を重ねることで気付いた工夫や知恵を大事にし、発想の転換を楽しんだのです。その多面的な観察力は「さすが俳優だ」と評価されました。そしてもう一点共感できるのは、教師を目指す若者への手紙の中で「教師と俳優に共通するのは、多くの声を聴き取れる耳を育てることです」とアドバイスしている点で

す。耳を鍛えることは人間を理解する基本ですし、謙虚に聴こうとする態度は心の器を広げる力になります。聴く力は一生ものですから、大切に身につけておきたいものです。さて先日、地元の退教の昼食会に、付き合い感覚で参加させていただきました。ところが、久々にお会いしたメンバーからの失敗談も含めた近況を聞くたびに、爆笑やら感心やらで会は大いに盛り上がり、アツという間の2時間で皆

さんの笑顔には、人生を受け止める余裕(楽しむ力)と充実感(聴く力)を十分に感じとる事ができました。退教恐るべし。互いの生き方を聴き合う場が退教であるならば、歳を重ねた面白さを教えてくれたのも退教メンバーの熱意でありました。焦らず自然体で、先ずは退教を楽しんでみましょう。結果、自分らしい生き方を見つける事ができたなら二重マルではありませんか。

## 当選おめでとうございます



福井市議会議員 玉村正人先生 (3期目)



福井県議会議員 北川博規先生 (初当選)



福井県議会議員 渡辺大輔先生 (初当選)

去る4月の統一地方選挙において、県退教組織内議員として推薦した3人の先生は、素晴らしい成績で当選されました。

渡辺大輔先生は、4期20年務められた山本正雄先生の後継者として、また、北川博規先生は、敦賀市議から転じて、いずれも初当選されました。

3期目を迎えられた玉村正人先生と合わせ3人の先生方には、今後も、福井の教育充実発展はもとより、地域発展、経済・社会福祉の充実に力を発揮されますよう、現職教職員の皆様と共に見守り、応援していきたいと思えます。



研修会

演題 奇跡の湖「水月湖」年縞堆積物の環境考古学への貢献

〜世界のものさしの意義〜

(講師) 福井県年縞博物館 学芸員 北川 淳子氏

北川先生は、『年縞』の名付け親である安田喜憲教授に師事し、現在昨年9月に開館した年縞博物館で、学芸員として日々研鑽されている。水月湖での最初のボーリング調査を行い、年代のものさしとして年縞を「サイエンス」に発表した北川浩之教授は兄にあたる。



そもそも年縞とは？

湖底に堆積する泥でできています。季節によって堆積するものが違い、年輪のように毎年つくられており、世界中でも見つかったりしている。

○春〜夏：黒っぽい

○秋〜冬：白っぽい

プランクトン・土  
プランクトン・鉄分・黄砂

水月湖に年縞ができるのは？

- ①流れ込む大きな川がない  
2013年の洪水で隣の三方湖は濁ったが、水月湖は濁らなかった。
- ②山に囲まれている  
隣の標高400mの梅丈岳などの山々に囲まれ、風を防いで波が立たず、水がかき混ぜられない。
- ③湖底に生物がない  
水深34m。7〜8m下は酸素の供給がなく、生物が住めず、泥が静かに堆積した。
- ④底がほとんど沈んでいる  
湖に断層がはしり、平均すると年0.7mmずつ沈んでいる。それは、年縞がたまる深さと同じで湖の深さは変わらない。

まさに奇跡の湖

世界のものさしになれた理由？

○連続した長い年縞

何回もボーリングを行い、縞をつなぎ合わせることで、欠けることのない45mの年縞を取り出すことができた。

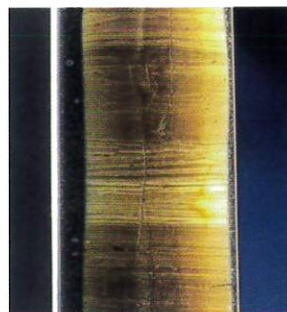
○数えた7万年分

長い年縞を1本1本、顕微鏡を使って、7万年分をこつこつ数えることができた。

○炭素14

通常、生物の炭素14が埋蔵物の年代測定に使われている。そこで、この年縞に含まれる葉の炭素14を測定して、年代測定の精度を高めた。

これら3つが合わさり、水月湖の年縞は、**ものさしの「世界標準」**と認められた。



【年縞スタンドグラス】

世界のものさしの意義とは？

○過去の気候を調べる材料

水月湖の年縞

含まれる花粉から、自然環境や気候を推定

鍾乳石(石筍)

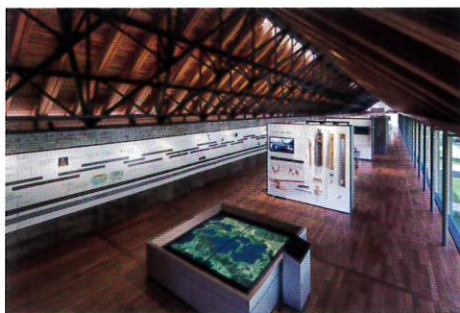
含まれる酸素と炭素から、より確かな年代を測定

氷(南極・グリーンランド)

含まれる酸素から、気温や海面の変化を推定

☆水月湖の年縞が基準(鍵)となり、この3つがつながりあって、過去5万年までの環境と気候の変動や、さらにメカニズムの解明に役立つ

ている。



【年縞博物館内展示】

研修会のお礼

「ものさし」のすばらしさ

副会長 角谷 和子  
何万年も前の話は人生のロマンの追求という感覚がありますが、現在の地球環境の変動が、太古の地層の中に隠れていることがわかりました。

水月湖の年縞が広く知れ渡り、「世界のものさし」として認められていることは素晴らしいことです。北川先生の生き生きとした表情と巧みな表現から、何万年も前の流れが自分たちの目の前に現れて、ぞくぞくする感じで、目からうるこでした。

是非現地に行つて確認してみたいと思います。ありがとうございました。



【年縞博物館】



2019年度親睦旅行

国生み神話の地  
淡路島を訪ねて

第37回「すいせん会」旅行は、5月21日〜22日に26名で実施。例年になく少ない参加者でしたが、和気あいあいと親睦と研修を深めました。

伊弉諾神宮やおのころ島神社に参拝し、古代のロマンに思いを馳せ、500年の伝統を持つ淡路人形浄瑠璃館では、先人の知恵と工夫と努力に強く心を打たれました。また、「阪神・淡路大震災」で出現した野島断層を眼前に、改めて地震の凄まじさと驚異を実感させられました。

車窓から見えるのは、一面の玉葱畑。収穫の真っ最中で、この後は稲作に様変わりするそうです。淡路島を心ゆくまで堪能した旅でした。

旅の川柳

今年も旅の川柳会を行いました。

あれやこれやの淡路島

神宿る 大鳥居の下で はいポーズ  
秀麗な いらかの屋根も 草止め堤  
浄瑠璃を 身近にさせた 仲間の話  
浄瑠璃を 受け継ぐ心 ずっしりと  
覚えあり 瞬間見せる 変身ガブ  
震度7 体験だけど こわかった  
重文の 庭にも来るよ 閑古鳥  
期待せし 庭園荒れて 草の花  
水なし池 雑草だらけの (迷) 名庭園  
荒れ庭背に おわす仏の にがり顔



今が旬 たまねぎ畑



驚異の震度7



淡路人形浄瑠璃資料館



国生みのおのころ島神社大鳥居



淡路一宮伊弉諾神宮

旅、やすらぎの刻を求めて

淡路では オニオンスープが 蛇口から  
来てよかった 行き先選ばぬ 友との旅  
おのころの 一番人気 直売所  
令和に沸く 世間を尻目に 我昭和  
玉葱畑で お得に買えて バスに乗る  
年重ね コルセットつけ バスの旅  
鳥居背に 玉葱選りば 主婦の顔  
今日もまた 花より団子 酒うまし  
オニオンの 香も乗せ走る 帰りバス  
ああでもねえ こうでもねえ タビックス  
瀬戸内の オーシャンビューや 非日常  
旅先で つられてゆるむ 財布のひも  
朝陽昇る 淡路の海の 煌めいて  
バスの中 騒然しずめる 海の青  
土産買う いつの間にか 主婦の顔



湯口 和夫さん(鯖江支部)



〈現職時代の思い出〉

初任校として惜陰小に赴任。校長として再び赴任。約30年間勤めた惜陰小で教育のイロハを学びました。毎年研究発表会があり、『提灯学校』と言われる

ほど、夜遅くまで頑張っていました。若し者は立派な先生方の姿に接して、良い勉強をさせてもらいました。その中で、小・中学校においては『学級づくり』が基本であることを学びました。民主的で凝集力の高い集団づくりの基礎は、何でも話せる雰囲気づくりです。そしてそれは、子どもたちの学力向上や、その後の人間としての成長にも繋がったと思います。

鯖江中のカウンセラーとして、自閉症や登校拒否の子ども

たちとも関わりました。どうすれば話せるようになるのか。

感動体験をさせようと海岸ヘッドライブに出かけました。すると、ぼつりぼつり話し始め、その後、高校へも合格しました。教育は微妙で繊細なものです。何でも話せる雰囲気作りは、こつした子どもたちと関わる時にも活かされました。

また、筑波での研修や、団長として文部省から海外へ派遣されたことは、教師としての視野を広げ、本当の社会を知る機会

お二人気ですか！

年齢を重ねても、今なおいきいきと活動されている方を訪問し、長寿や豊かな生き方の秘訣についてお話を伺ってきました。

(訪問者・編集委員)

玉崎 順子さん(勝山支部)



〈現職時代の思い出〉

中学校に勤務していた15年間、陸上部の顧問をしていました。朝から晩まで生徒と一緒に走り回り、汗だくで真っ黒に。市や県の大会では、結果に生徒と一喜一憂したものです。

また、生徒の荷物を軽トラで運び、自転車で勝原へ合宿にも行きました。自然の中で活動したことは楽しい思い出です。今でも、教え子が立ち寄りたり食事に誘ったりしてくれます。

45歳からの5年間は、派遣社会教育主事として市教委で仕事をしました。公民館や各種団体との関わり、市や県の催しへの参画等の中で、多くの人との絆もできました。忙しくも素晴らしい経験となりました。

〈退職してからの思い出〉

退職して早30年。4人の孫と

にもなりました。

〈退職してからの思い出〉

スローな生活を大切にしています。まず、耕運機を購入し、畑の開墾をしました。薪で風呂を焚き、灰は肥料として活用。EM菌(ぼかし)研究会の副会



平成28年度退教旅行

長も20年間務めました。ぼかしで育てた野菜は野菜本来の匂いがし、野菜づくりは、子どもを育てると似ています。ラジオ体操は80年間続け、毎日一万歩歩いています。退教等の旅行には、夫婦で参加してきました。二人で国内外へ出かけたことは、大きな財産になっています。

〈若い人に一言〉

今一度『学級づくり』に真剣に取り組んでほしいと願っています。子どもたちの悩みを知り、救えるのがプロの教師です。保護者対応が難しい時代ですが、信念を持ち、『学級づくり』に取り組んでください。

知の友達の所へも積極的に出かけられています。

に入りました。地区の女性だけのチームで、今も週に2回練習しています。大きい声で叫んだり笑ったり…。疲れると持ち寄り笑ったおやつを食べながら雑談。そういう仲間がいることに感謝しています。『病息災』で、食事には気を遣っています。友人との会食は思いっきり楽しんでいきます。

また、日課として音読は欠かせません。大きい声で速読をしたり気がついたことをそのままに書き留めたりもします。漢字ドリルやアロークロスで、脳のリフレッシュもしています。展覧会・音楽会などの催しや、旧

〈今の楽しみ〉

平成5年頃から、ソフトバレーボールの『パンビチーム』



築150年の家の周りに広がる「薬草園」の花々や生きものに囲まれ、元気に過ごしています。



### 大輪の菊

勝山支部 多田 誠治

菊作りの一番の楽しみは、咲き揃った大輪の花を見ることです。10月下旬から11月は私の一番好きな季節です。

菊作りは「さし芽」から始まります。発根までおよそ20日、その後、鉢に植え替えて満開を迎えるまでの180日間は、施肥・水やり・日光に当てるなど、病気に強い菊に育つよう心くばりをします。水・肥料・日光どれも菊には欠かせませんが、私は心くばり思いやりを欠いては、菊は育たないと思っています。水や肥料の吸収の仕方は、鉢ごとに違います。一鉢一鉢個性があるのです。それぞれの特徴を見きわめて育てていくのも楽しみの一つです。現在(6月)毎日の楽しみは、菊ハウスに入り、一鉢一鉢の育ち具合を見ることです。菊に話しかけながら水やりをしています。

また、地区の公民館の菊作り教室でも9名の皆さんと一緒に菊作りを楽しんでいます。月1回の活動ですが、10年間続いています。毎年町の文化祭に菊花展を開いて、大輪菊花の素晴らしさを町民の方々にも見ていただいています。

また、勝山菊友会顧問の私は、満開になった菊鉢を北陸3県菊花コンクール(武生菊人形会場)、福井県菊花大会、勝山市菊花展等に出品しています。その後、菊鉢は保育園や小学校、公民館、郵便局等に展示し、地域の皆さんから好評をいただいています。



### 水墨画を楽しんでいます

福井支部 加藤 桂子

「墨と筆と紙さえあれば手軽にできる」と誘われ、子どもの習字道具を引っ張り出してきて軽い気持ちで習い始めた水墨画。始める前は正直なところ、墨だけで描く質素な表現で、年寄りが手本を見て描く風景画といったイメージがありました。ところが、経験を重ねるにつれ、墨の種類・紙の質・水の量・筆の動かし方等によって、様々な表現の可能性が広がる奥深さを実感するようになり、どんな表現ができるかなと、今は興味津々といったところです。時間をかけて絵の具を重ねる油絵や日本画とはまた違って、思い切って一気に筆を走らせてできる線や形の面白さもまた魅力です。

日本に根付く伝統的な文化のひとつである水墨画ですが、残念なことに福井県で水墨画を楽しんでいるのは70歳以上の年配の方々ばかりで、若い方はほとんどいません。

水墨画の楽しさを分かち合える仲間を少しでも増やしたいと思いつつ、気に入った表現を模索して楽しんでいます。



## つながり合って

### 「童謡」が流れる街、大野

大野支部 荒木 亞男

昭和63年の設立当初からこの会に関わり活動してきました。会員の高齢化が進みつつも、30年以上継続しています。会員は常時30人以上います。活動日は毎月の第3土曜日、午後1時半より2時間です。この活動形態が長く継続してきている要因だと思います。

老人施設、各地域の団体の訪問活動も魅力あるものです。

「童謡」に表現されている言葉は、実に美しく、優しい、平易な日本語です。しかも誰もが口ずさめる旋律です。「童謡」は心が癒やされる、幼少時代や故郷を思い起こさせてくれる・・・といった回顧だけではなく、心がすさんでいる今の世に求められている優しさや気遣いが潜んでいます。例えば、「チューリップ」の歌には「どの花みても きれいだな」という歌詞があります。どの花もきれいなのです。これが綺麗、あれが綺麗でないというものではありません。差別とは無縁のものです。

童謡の歌詞の意味、作詞者・作曲者の意図等、解説を加えて、童謡以外の仏教賛歌や懐かしいフォークソング等、楽しんで歌える曲を数多く歌いこんでいます。『「童謡の流れるまち大野」を愛する会』が正式団名です。いつも童謡が流れている街であってほしいと願っています。



### 人とつながり合って

吉田支部 山田美保子

退職後、それまで勤めていた地区とは別のところに住むことになり、すべてが初めてでした。

やりたかった趣味をすぐに始め、地区の人たちとつながりを持つと、退教の係になり、日赤奉仕団にも入りました。それは世界へも目を向ける機会になり、海外旅行もしました。

やがて近くの中学校の相談員、幼稚園の英語教室を頼まれ、小学校の読み聞かせにも誘われました。子ども達とのつながりは、近所でも会話が生まれ、ボランティアを通して初めて知ること、今までの見方と違うこともあり新鮮でした。

集まりがあれば、出会い人とのつながりがあります。近所に住んでいたり、職場で一緒に働いたり、同窓会に招いてくれたり、教え子との思いがけない再会もありました。

喜びをもらった趣味、旅、ボランティアも、年齢と共に行動範囲は狭くなり遠のきますが、読み聞かせは今も続けています。絵本と子どもは元気をくれます。仲間との話し合いもあり、私自身新しい知識と感動をもらっています。

今、老人会、女子会、新しい趣味の会で近くの人と別のつながりが生まれています。





### 平成30年度 支部の活動状況

＜現況＞会員相互の親睦を深めるとともに、地域の教育支援やボラティアなど各実情に合わせた活動を実践している。

(支部長・会員数はH30.10.1現在)

#### 福井

〈支部長〉廣瀬 行雄  
〈会員数〉801名 〈会費〉2000円

- 総会・懇親会を開催 ○学習会実施
- 日帰り研修旅行実施 ○加入勧誘促進
- 通信「カタイケノー」の内容充実
- 総会内容の充実と交流の促進
- 教育実践集発行、現職へ配付

#### 吉田

〈支部長〉加藤 哲郎  
〈会員数〉111名 〈会費〉1500円

- 総会・研修会・懇親会を開催
- 1日研修・坂井市三国湊を訪ねる
- 被災地への支援活動(募金)
- 旧交を温め参加しやすい総会
- 地域教育力を高める運動

#### 大野

〈支部長〉荒木 亞雄  
〈会員数〉143名 〈会費〉2000円

- 総会・懇親会を開催・臨時総会開催
- 日帰り研修旅行の実施(鯖江市・BBQ)
- 米寿祝い家庭訪問(7名)
- 入会率向上、若い人の参加促進
- 研修旅行への参加増を図る

#### 勝山

〈支部長〉丹後 清明  
〈会員数〉151名 〈会費〉1000円

- 研修会・総会・懇親会を開催
- 文集「なにか一言」集の発行
- 研修・情報交換・ボラティアを推進
- 地域の教育活動の積極的支援

#### 坂井

〈支部長〉細江 悦雄  
〈会員数〉287名 〈会費〉1000円

- 総会・研修会・ランチ会の実施
- 日帰り研修旅行の実施
- 参加しやすい総会・研修会の工夫
- 若い人、女性の参加促進
- 会員の勧誘の工夫

#### 鯖江

〈支部長〉高芝 和彦  
〈会員数〉204名 〈会費〉1000円

- 総会・懇親会を開催
- 研修・会員から体験談等、話題の提供
- 長寿記念品贈呈5名
- 新規会員の加入促進
- 総会・親睦会の参加率向上

#### 丹生

〈支部長〉平沢 藤徳  
〈会員数〉120名 〈会費〉2000円

- 役員会、総会・懇親会の実施
- 講演会の実施。
- 会員の話を生きがいづくりの参考とする
- ゴールド会員制の充実

#### 武生

〈支部長〉吉田 弘  
〈会員数〉231名 〈会費〉1000円

- 総会・懇親会の実施
- 隔年ごとに講演会を実施
- 募金活動(ユニセフ)
- 行事への参加者拡大を図る
- 未加入会員の勧誘に努める

#### 今立

〈支部長〉小林 賢三  
〈会員数〉53名 〈会費〉1500円

- 役員会・総会・講演会の実施
- 親睦を深める親睦会実施
- 研修・親睦会の参加率向上
- 県退教と連携した活動参加

#### 南条

〈支部長〉大塚 富雄  
〈会員数〉39名 〈会費〉1000円

- 1泊2日で総会、懇親会、研修会を開催(情報交換・高齢会員の近況確認)
- 過年度対象者も合わせ入会の勧誘活動

#### 敦賀

〈支部長〉岡本 章  
〈会員数〉22名 〈会費〉1000円

- 総会および研修会の実施(3月中旬)
- 支部組織の維持、拡大を図る
- 規約の検討と決定

#### 三方

〈支部長〉芝井あさ子  
〈会員数〉37名 〈会費〉1000円

- 役員会、総会、懇親会の開催
- 研修旅行(淡路島方面)実施
- 行事への参加者拡大
- 他支部との連携協力の模索

#### 三方上中

〈支部長〉大下 恭弘  
〈会員数〉94名 〈会費〉1000円

- 総会・研修会・懇親会の実施
- 懇親会(忘年会)の実施
- 若狭町退教通信の発行
- 地域の教育を積極的に支援する
- 会員相互の親睦を図る
- 行事への参加者拡大を図る

#### 小浜

〈支部長〉坂田 稔  
〈会員数〉123名 〈会費〉1500円

- 支部総会・研修会開催
- 大飯支部と合同で、総会、講演会、懇親会を実施
- 会員の見聞を広め、親睦を深める
- 退職者の加入促進を図る

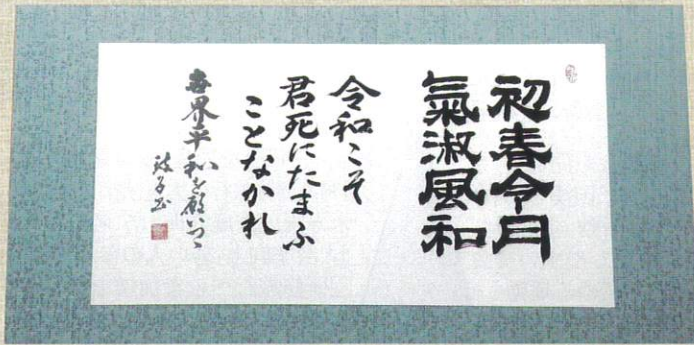
#### 大飯

〈支部長〉福島 紀男  
〈会員数〉53名 〈会費〉1000円

- 小浜支部と合同で総会、講演会懇親会を実施
- 行事への参加者拡大を図る
- 退職者の加入促進を図る



# 県退教ミニギャラリー作品より



書 「令和こそ平和に」 河原りふ子 氏



油絵 「コスモス」 大滝典子 氏



花 「蘭3種」 乾 昭治 氏



工芸 「花かご」 松枝恵子 氏



墨絵 「岩壁を登る」 河原英子 氏

## 会員物故者氏名(敬称略)

(令和元年7月20日現在)

謹んでご冥福をお祈りします。

山 谷 強	芦 田 ずゑ	吉 住 子	森 永 宏	福 島 宏	広 部 明	酒 井 昭	山 田 千鶴	尾 野 俊	笠 原 歌	勇 上 静	小 嵐 重 右 衛 門	西 高 義	竹 内 清	小 木 智	〔福井支部〕
93	98	99	84	85	98	92	84	93	91	89	95	86	77	88	
村 田 夫	五十嵐 政	増 田 高	〔鯖江支部〕	田 川 勇	川 端 新	三 上 政	〔坂井支部〕	島 田 信	〔勝山支部〕	松 田 智	長 谷 川 正	宝 珍 清	〔大野支部〕	勝 木 礼	坪 田 昭
87	86	90		92	91	81		95		90	90	93		90	91
中 川 節	〔天飯支部〕	垣 本 典	領 家 亮	〔小浜支部〕	松 宮 良	〔三方上中支部〕	伊 藤 達	〔南条支部〕	國 定 秀	鎌 田 幸	松 村 道	岩 端 み	澤 崎 哲	宮 下 治	〔武生支部〕
88		90	78		89		95		83	94	87	82	80	86	
															〔丹生支部〕
															内 藤 洪
															基
															94

## 編集後記

ミニギャラリー 作品募集

◎ 絵画・写真・工芸手芸  
品・書・短歌俳句等  
お気軽に出品下さい。  
ご連絡は県退教へ。

◎ 心に残る作品が出品されていきます。近くへお越しの折はぜひご鑑賞下さい。

明るいニュースが少ない社会の中で、子どもの可愛い仕草や旧知の友との語らいは、ほっとした時間をもたらしてくれます。また、生き甲斐を持ち人とのつながりを大切に行っている方の表情は、周りに元気を与えてくれます。

本会の活動スローガン『今を生きる』つながり合って』に因み、新コーナーがスタートしました。時代の流れの中で、人とのつながり方は変わっていきませんが、この通信が、これからも会員の皆さまの生き甲斐・健康・仲間づくりの一助になることを願っています。

(福田玲子・松枝恵子・法山寿子)